

永山第2地区

社協だより

永山第2地区社会福祉協議会

< 第13号 >

永山第2地区社会福祉協議会

会長 中村 彰 利

発行日 / 令和3年12月 1日

印刷所 / 原田ギフト印刷商会

社協の活動 SOSネットワークの紹介

永山第2地区社会福祉協議会 副会長 工藤 博 視



永山第2地区の皆様におかれましてはお変わりなく健やかに過ごしのことと存じます。また日頃より、当社協の活動に対し、ご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、永山第2地区社会福祉協議会が取り組んでおります「SOSネットワーク」は、町内会を主体として地域住民のご協力の下に実施している全国的にも珍しいシステムです。

今回はその活動状況について、Q & A方式でわかりやすくお知らせいたします。

【Q】 永山第2地区のSOSネットワークの設立はいつ？

【A】 H27年7月、旭川市で2番目に設立され、7年目になりました。1番目は春光台地区、その後永山南地区等、現在市内の5地区で活動しています。

【Q】 設立された目的は？

【A】 急速な高齢化で認知症の方が増え、徘徊等で行方不明になる事案が増加。上川保健所によると、旭川市内で年間100件程度、永山地区も10件程で、早期発見の対策が必要です。

【Q】 ネットワークの組織と役割は？

【A】 第1グループは町内会で、選任されたボランティアの方が、居住する町内区域を捜索します。

第2グループは協力団体(学校関係、神社や寺院、駅や郵便局、支所、振興局、農協、バスやタクシー会社等)18施設がそれぞれの担当区域を捜索します。

第3グループは警察署、消防署、福祉施設職員等が永山第2地区区域を捜索します。

【Q】 ネットワーク維持のために実施していることは？

【A】 最も重要なのは、捜索依頼の情報が迅速・正確に伝えられる事で、年2回の模擬訓練を実施し、情報がボランティアの方に正確に伝達されるのか、時間等計測しながら点検して、改善点を検討しています。

また、「SOSネットワークフォーラム」を開催し、関係者の体験等を交流する研修を通して、連携を深めています。

永山第2地区社会福祉協議会 福祉目標

ふれあいといたわり 安心・安全 わがまち永山

支え合って・助け合ってつくる ふれあいといたわりのまち

①地区敬老会の開催

永山第2地区市民委員会との共催で、9月17日(日)に開催。77歳以上の方が対象です。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、記念品の配布のみとなりました。招待者は1,420名でした。(出席率85%)



②高齢者健康体操教室の実施

運動不足になりがちな高齢者を対象とし、体力の維持・向上を図ることを目的として、町内会館等を利用して軽い体操などを実施する体操教室を、旭川大学、旭川保健所の支援を受けて3会場で開催しています。

○永楽会館

○さくら会館

○あずま会館

毎月曜日(11~3月)

毎水曜日(4~3月)

毎木曜日(4~3月)



さくら会館では緊急事態宣言あけの10/20(水)から、活動を再開しました。皆が集まって交流することを目的に、平成22年から活動を始めました。現在会員17名、年1回は永山地域包括支援センターの出前講座で研修もしています。

③高齢者ふれあいランチ懇話会の開催(継続/年2回開催)

75歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止にしました。

その代替として、対象者の自宅を訪問して声かけをし、ささやかな贈り物をする『ふれあい訪問プレゼント』を12月中旬に実施する予定です。

④子育てサロンの開催（継続／永山公民館と共催／年12回開催）

未就園幼児を子育て中の保護者と妊婦の支援のため、家庭教育活動を支援する公民館と一体となって開催しています。

新型コロナウイルスの感染拡大により、旭川市が緊急事態宣言やまん延防止等重点措置区域に指定され、公民館が休館となるなど、予定通りに進めることができませんでした。

今年度11月末時点では、4月、7月、11月の3回のみの実施となりました。

- ・ 4月19日（月）鯉のぼりづくり
- ・ 7月19日（月）七夕まつり
- ・ 11月15日（月）は、ヨガインストラクターを講師に招いて「親子ヨガ」を実施しました。

また、12月からは旭川大学短期大学部幼児教育学科 佐々木准教授のゼミナール学生が子育てサロンにボランティアとしてご協力いただける事になっております。これに伴い、開催日が以下のように変更になりますので、あらかじめご了承ください。

【今後の予定】12月から原則毎月第3木曜日

- ・ 12月16日（木）クリスマス会
- ・ 1月20日（木）節分
- ・ 2月17日（木）おひなまつり
- ・ 3月17日（木）紙芝居 を予定



地域の特性を活かした 住みやすいまちをつくる

①広報誌の発行

永山第2地区社会福祉協議会の活動状況を地域住民の方に周知するために「永山第2地区社協だより」第13号を4,000部作成し、区域内全世帯及び関係諸機関に配布します。

②永山ふれあいまつりの開催 <市社協の地域特性を活かしたまちづくり事業>

昨年までは永山児童センターを会場に、子ども達と高齢者の方が、昔あそびや竹とんぼ作りなどを通して交流していました。

しかし、コロナ禍で同様の開催は難しいと判断し、「謎解きラリー」に変更して10/16（土）に実施しました。密にならないようにと創意工夫しました。また、12月18日に「クリスマス会」を予定しています。



③共同募金活動への協力

旭川市共同募金委員会の募金活動に協力し、区域内企業、医療機関、団体等の大口募金を9月末に実施しました。41ヶ所での募金額は231,791円でした。

安全で安心して いきいきと暮らせるまちをつくる

①安心見守り活動の実施

「真に見守りを必要とする方」に対し、昨年同様「町内会予備調査」「三者会議」「担い手選出」を行いながら実施しています。

②認知症SOSネットワークの推進

永山第2地区社会福祉協議会が中核の運営委員会で、特別会計方式で実施しています。

諸会議の開催及び各種研修会，講習会への参加

①諸会議

- ・定期総会・理事会・会計監査・事務局会議
- ※コロナ禍の中で今年度は総会議案等，書面表決での議決となりました。

②各種研修会，講習会

- ・市社協，市共同募金委員会主催の評議員会，
- ・事務局長会議・福祉関連研修会，講習会等



永山第2地区社会福祉協議会役員

| | | |
|---------|-------|----------------|
| 【顧問】 | 辻 研二 | (市民委員会会長) |
| 【会長】 | 中村 彰利 | (日の出町内会会長) |
| 【副会長】 | 工藤 博視 | (前永楽町内会会長) |
| | 佐藤 朗 | (あかり町内会会長) |
| | 廣田 弘康 | (三幸町内会会長) |
| 【監事】 | 三浦 敏章 | (市民委員会会計) |
| | 磯山 守巨 | (神社通町内会) |
| 【事務局長】 | 金 健一 | (九区愛郷町内会) |
| 【事務局次長】 | 林 大容 | (東栄町内会副会長) |
| | 石本 一三 | (あさひかわ商工会事務局長) |
| 【会計】 | 坂東 駿 | (共栄町内会顧問) |
| 【理事】 | 工藤 芳美 | (東地区民生児童委員) |
| | 一條 俊作 | (東地区民生児童委員) |
| | 三浦 憲三 | (東地区民生児童委員) |
| | 柴田 祥子 | (福祉施設運営代表) |
| | 佐藤 靖子 | (東地区民生児童委員) |
| | 江口 森秀 | (協利町内会総務部長) |
| | 石田真智子 | (福祉施設職員) |
| | 多田 智美 | (福祉施設職員) |

赤い羽根共同募金

この広報誌「永山第2地区 社協だより」は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

あとがき

「永山第2地区社協だより」第13号をお届けします。

「第2次福祉実践計画」の3年目として、これまでの成果と課題を踏まえた今年度の事業のあらましと実施状況を掲載しました。コロナ禍で中止となる事業が多くなりましたが次年度に繋がるよう、今後ご理解とご協力をお願いいたします。

(広報担当 工藤(芳), 林, 石本)